



学名: Rose canina L.
分類:バラ科/半つる性落葉低木
和名:イヌノイバラ
効能:美肌、抗酸化作用、貧血予防、強壮、修練、利尿、鎮静
注意:妊娠中の方も飲用できるハーブ。漢方薬を服用の方は医師または薬剤師に相談の上飲用してください。

【ローズヒップ】

バラの果実であるローズヒップは、ビタミンA、C、E、Kや、ミネラル類、鉄分、ポリフェノール、リコピン、カルシウムなども含まれています。中でもビタミンCはレモンの20~30倍もの含有量になり「ビタミンCの爆発」と呼ばれています。

しかも、ローズヒップに含まれるビタミンCは熱に強く栄養を損なわずに効率的に摂ることができます。

チリの先住民や古代ローマ時代時代から薬として使われていたと記されています。

また漢方では、「金桜子(きんおうし)」と呼ばれ肝臓や泌尿器系のトラブルに使われてきたそうです。

《ご注意》

ハーブは古代医学では薬として使われてきましたが、現代医学での薬ではありません。そのため医師から処方された薬の代わりに使用することはできません。

各ハーブに対するアレルギーの有無や副作用等のリスクに対して問題がないか事前にご確認の上、ご自身の判断にてお飲みください。

妊娠中、または授乳中の方、その他処方薬を服用中の方は、事前に医師または薬剤師に相談の上、お飲みください。



New York Voice Care's Herb Handbook

